

子ろばだよ！北総教会 J C 通信

2012.2.19

第 31 号

発行責任者 印西市草深天王脇 1139-7

日本基督教団千葉北総教会 牧師 大串眞



でんわ 0476(37)8732 牧師携帯 08031596561

私の好きな聖書のことば

すると父は言った。「子よ、お前はいつも私と一緒にいる。わたしのものは全部お前のものだ。だがおまえのあの弟は死んでいたのでに生き返った。いなくなったのに見つかったのだ。祝宴を開いて楽しみ遊ぶのは当たり前ではないか。」

ルカによる福音書 15 章 31



これは「放蕩息子のたとえ」の末節の兄へ向けた父の言葉です。ご承知の通り、この話の大部分は弟の放蕩息子と父の物語です。弟は家を出、遊興三昧に財産を使い果たした揚句、食べること

にも欠いてしまうのです。本来ならば帰れる道理もないのだけど、何か恵んでもらおうと父の家に向かいます。すると、父はいち早く息子に気づいて駆け寄り、涙を流して喜び、祝宴を開きます。

ところが話はここで終わりません。

あまりに歓待する父に、今まで節制し忠実に仕えてきた兄は怒りをあらわにします。

この時、父がこの上の息子に厳しい調子で叱ったのが文頭の言葉でした。

さて、正しい兄は行いにより得をしていないばかりか、ちゃっかり者の弟にいいところを奪われたような印象です。子供のころ私はこの真理を読み取ることが出来ませんでした。

しかし親となった今は父の思いを、こう断言することが出来ます。父にとって上の兄は手塩にかけた愛息子なのです。父のように考え、父のように行動できるよう一人前に巣立つようと、心を砕き日々導いて来たのでしょ。それゆえ父の期待を裏切る兄の言葉にどんなにか歯がゆさを感じたはずです。



いつまでも赤子のように自分のことでいっばいの息子の振る舞いに、父は

愛情を持って戒めていたのです。

聖書の読み取りは、年を経て成長によって更に深いものとなります。

そして、御言葉は絶えず形を変えて常に私達に語りかけてきます。先日の礼拝メッセージの内容にも重なりますが、父と同じ姿に変えられる。とは、天の父の愛ゆえの技のほかならなかつたのですね。なんと感謝なことでしょう。

T・R

今月のイチオシ

「glee」

私が最近ハマっているのは海外ドラマ

「glee」です。友達に DVD を借りて好きになりました。オハイオ州の glee(合唱)クラブのお話です。廃部寸前の glee を、新しく顧問になったウィルが建て直していきます。glee には個性的なキャラクターがたくさんいて、コメディ的な場面もあれば、それぞれが成長していく様子も見れます。また出演者も、ブロードウェイで活躍している人などをつかっているので、合唱するシーンもとても見応えがあります。

魅力が伝わったかわかりませんが、とてもおもしろいので是非 DVD を借りて見てみてください。

Y・K